

この御夫婦とつき合っていると、
気もはればれと天外に遊ぶ
心地がする。

——白洲正子（「別冊太陽」より）



「この庭は、主人の
すべてやからね」



名優・山崎努と樹木希林 円熟の夫婦を 味わい深く 人生が愛おしくなる 珠玉の物語

山崎努演じる画家モリ（熊谷守一）は94歳。猫、蟻、揚羽蝶、鬼百合・・・毎日、庭のちいさな生命たちを飽くことなく眺め、絵を描いてきました。50歳を過ぎてようやく認められ、近頃はどうか暮らせるようにはなっただけ・・・相変わらず周囲の期待通りには筆が進みません。

樹木希林が演じる妻・秀子は76歳。時流にも無頓着な夫と世間の間に立ち、時に光と影を包み込み、毎夜アトリエに送り出します。この夫婦の52年間は、決して平坦ではありませんでした。子どもを亡くす経験もしました。二人は、じかに優しい言葉をかけあうことはしないけれども、ふと漏らす言葉に互いへの深い敬意と愛情がうかがえるのです。

山崎努と樹木希林－日本映画の至宝たる名優が演じる老夫婦の佇まいには、長い歳月を生きた深い絆が感じられます。ただ二人がいる。その姿だけで感動が心に広がるのです。



【物語】庭と生き物を愛し幸せに暮らす夫婦に、マンション建設の危機が忍び寄る。陽が差さなくなれば生き物たちは行き場を失う。慈しんできた大切な庭を守るため、モリと秀子、それぞれある行動に・・・



俊英沖田修一監督・脚本 最高のキャストが勢ぞろい

昭和49年、お茶の間の人気者はドリフとジュリー。どこか懐かしいある夏の1日を味わい深くユーモラスに描くのは、「南極料理人」「横道世之介」などの沖田修一。沖田監督の温かな目線のもと、加瀬亮（「硫黄島からの手紙」）、吉村界人（「ピジ

ランテ）、光石研（「あぜ道のダンディ」）、青木崇高（NHK大河ドラマ「西郷どん！」）、三上博史（「スワロウテイル」）、吹越満、池谷のぶえ、きたろう、林与一・・・日本映画を支える実力派たちが結集して、熊谷家の1日を賑わせます。ちりばめられた、心にじんわり染み入る名セリフに、観終わった後には、きっと家族や周囲の人たちを慈しむ気持ちが深くなることでしょう。



山崎努 樹木希林
加瀬亮 吉村界人 光石研 青木崇高
吹越満 池谷のぶえ きたろう 林与一 三上博史
監督・脚本：沖田修一
配給：日活 制作：日活・ダブ
©2017「モリのある場所」製作委員会
mori-movie.com



ブーム到来。画家・熊谷守一（くまがいもりかず）

「没後40年 熊谷守一 生きるよろこび」（東京国立近代美術館にて3月21日まで開催）
書籍：小説版「モリのある場所」小林雄次 著（朝日文庫）4月7日発売予定
「モリカズさんと私」藤森武／山崎努／沖田修一／田村祥蔵（文藝春秋）3月8日発売予定。



前売券 1,200円 発売予定日／10月25日～（販売所により発売日が異なる場合があります。）
（当日券／一般：1,500円、高校生以下：800円、悠悠映画塾会員は1,100円）

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00）

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控え
いただきますようお願いいたします。またご入場の際等、
適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円で鑑賞出来ます。



※デジタルチケットは、
上記の二次元コードより
購入できます。